

令和3年度5月教育委員会 会議録

開催日時	令和3年5月27日（木） 15:00～17:00	
開催場所	町民総合会館 集会室	
出席者	委員	徳山順子教育長、竹井成範委員、栗坂祐子委員、綾野克紀委員、市橋晃委員
	事務局	村木美晴生涯学習課長、水玉匠紀学校教育課長、猪木浩二課長補佐、藤井夏樹主事
会議次第	<p>1 開会 教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 早島町立幼稚園給食実施規則の一部改正について</p> <p>(2) 早島町立幼稚園預かり保育料の減免に関する規則の一部改正について</p> <p>(3) 令和3年度教育課題に対する取組状況</p> <p>(4) 全国・県学力・学習状況調査について</p> <p>(5) GIGA スクール構想の推進に向けて</p> <p>(6) 岡山県家庭教育応援条例（仮称）の制定に係る意見について</p> <p>(7) 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>(8) その他</p> <p style="padding-left: 2em;">・第3次早島子ども読書活動推進計画策定会議</p> <p>3 連絡</p> <p>4 閉会</p>	
会議資料		
傍聴者		
会議録作成者	藤井 夏樹	

会議内容

1 開会

教育長あいさつ

教育長：本日、全国・県の学力・学習状況調査を行っている。子ども読書活動優秀実践校の文部科学大臣表彰を早島中学校が受け、読書活動の充実を図ったことが評価されうれしく思う。小学校は定数が3名欠けた状況だが、全教職員で一丸となって授業を行っており、教員免許のもつ教員が県内も不足している状況である。

先日、学校訪問を行ったが、タブレットをうまく活用していると感じた。一人一台端末となったが、朝の健康観察から活用されている。学校教育が急速に時代に追いついてきていると感じた。今後、学校訪問をしていただいた際、ぜひ見ていただきたい。

2 議事・報告案件

(1) 早島町立幼稚園給食実施規則の一部改正について

藤井：説明。

教育長：おいしい給食を提供していただき、野菜等が苦手な園児もいるが、継続して指導することで、食べられるようになってほしいと思っている。改正についてはよいか。

全委員：了承した。

(2) 早島町立幼稚園預かり保育料の減免に関する規則の一部改正について

藤井：説明。

教育長：本年度より、幼稚園の事務は健康福祉課が行っている。健康福祉課と学校教育課とで事務の見直しをしていく中で、改善策として提案しているが、改正についてはよいか。

全委員：了承した。

(3) 令和3年度教育課題に対する取組状況

教育長：4月にもアクションプランでお伝えさせていただいたが、学力向上を一番に考え、授業改善に取り組んでいる。昨年度は全国調査はなかったが県の学力調査で3、4年生の算数・国語に課題が大きく、改善策を検討し取り組んでいるところである。教育の情報化にも取り組みながら、授業のタイムマネジメントができていないことや、家庭学習時間の確保に課題があることや、家庭でのスマホ利用について自制できない児童生徒がいることなど、学力調査後は授業改善に取り組むとともにリミットスクリーンの周知徹底の協力もしていきたい。

不登校問題も大きな課題であり、担当者会議を定期的に行っているが、引きこもりをつくらずにふれあい教室や別室等に参加することで、学校とのきずなを深めたい。ICTを活用して、教室の授業を映し、オンラインで参加できるよう試行することにも取り組んでいる。

オリンピック・パラリンピックの推進事業でオリンピック等と呼ぶ授業も検討している。総合型地域スポーツクラブを行っているが、たくさんの参加者があり、定員をオーバーしてお断りをするような状況になっている。プレーパークも好評であり、今後も就学前から体力向上に努めていきたい。

教員の働き方改革については、時間外勤務は減ってきている。ICTも効果的に使っていて、朝の健康観察や、帰りの会の日記の導入についてもタブレットで行うなど、教育の効率化を図っている。令和5年度に向けて、休日の部活動指導の在り方についても研究し、地域に根付いた部の在り方を考えている。

「夢育」ということで、キャリア教育とESD教育の充実、非認知能力の育成に取り組んでいるところであり、今後も、「やり抜く力」と「他者とつながる力」を小さいときから育てていく必要があると考えている。

学校の教員の欠員状況が気になるが、岡山県全体で教員免許をもっている人がいない状況になっている。県には、働き方改革を進めると同時に、大学生だけではなく一度は教員を志していたが事情があって離れた方の登用なども考え、教員志望者を増やしていけるような取り組みをお願いしている。チームとして、皆が同じ方向に向いて授業改善や不登校対策をしていくように考えている。

全委員：了承した。

(4) 全国・県学力・学習状況調査について

教育長：全国・県の学力・学習状況調査が本日行われた。結果は8月に返ってくるので、早急に自校採点を行い、それをもとにラッキー7計画を作成し、具体的に何をしていくかを検討していく。できる、できないではなくて、何ができなかったかを確認し、再度授業で取り組むなど、その問題でできなかったことを解説して理解できるようにしていきたい。

栗坂委員：先ほどの話にもつながるが、読書と読解力はつながっていると思う。一番重要なのは子どもたちが読書をすることが楽しいと思うことである。楽しいと思えば違う本に触れてみたいという活力につながっていくと思う。すぐに成果が出るものではないと思うが、地道に積み上げていくことで本を読みたいという気持ちも育つし、力もついていく。そこが大事だと思う。そうならない子どもたちにはいろいろな仕掛けをして読書に取り組むように促してもよいが、一番大事なことは本を読みたいという気持ちを子どもにもたせることだと思う。

教育長：今年度は読書に力を入れたい。子ども読書計画を策定中であり、素案等が完成したら、ぜひともご意見をいただきたい。

(5) GIGA スクール構想の推進に向けて

教育長：令和2年度、令和3年度のGIGAスクール構想についてのロードマップを作成した。令和2年度はロードマップのもと、着々と活動を進めてきたが、令和3年度はタブレットも一人一台揃い、ICT支援員とGIGAスクールサポーターの力を活用して積極的に進めていく。小学5・6年生と中学2年生のオンライン英会話については、英語に興味をもち、ツールとして活用できるよう取り組みたい。

綾野委員：タブレットについては買い取りなのか。

教育長：国からの補助をいただき、買い取ることで導入できた。今後は機種が古くなっていくことが見通されているので機種の更新については課題となる。教科書のほうもデジタル教科書が導入されていく予定である。タブレットの自宅への持ち帰りについては、家庭によってはインターネット環境がない場合もあるのでもう少し検討していく。現在は休み時間でも先生の許可があれば使用できるようになっている。次回の学校見学の際にタブレット活用の様子をぜひ見ていただきたい。

全委員：6月の中学校の授業参観を楽しみにしている。

(6) 岡山県家庭教育応援条例（仮称）の制定に係る意見について

教育長：岡山県家庭教育応援条例についてご意見をいただきたいということで県から文書がきた。県議会議員さんも何名か来庁され、本町の取組を参考にされたと聞いている。何かお気づきのことがあれば、お教えいただきたい。

綾野委員：「基本理念」については、第2条に示されているが、第1条にも「基本理念」という言葉が使われているので、先に示した方が良い。

栗坂委員：このような条例ができると、社会全体で子どもを育てていこうという機運が高まる。

竹井委員：今後、この条例をもとに財源が確保され、さまざまな施策が実施されることになると思う。

綾野委員：施策に対する評価は難しいと思う。この条例が作られた背景には何か課題があったと思うので、その課題を明確にすることで、その状況が改善されたかどうかで評価できるようになる。

(7) 新型コロナウイルス感染症への対応について

教育長：保護者あてにも文書を出したが、学びの歩みは止めない。新型コロナウイルスについては、職場等でだれもが濃厚接触者等になる可能性は高いが、保健所の指示にしたがって動いている。現段階では、学校は臨時休業するようなことはない。緊急事態宣言中は、家族で体調が悪い場合は休んでもらうなど保護者の協力を得て行っている。児童生徒はだいぶマスク生活にも慣れてきており、給食についても黙食など、浸透してきている。小学校の運動会は緊急事態宣言が出たことで10月に延期するが、中学校は6月後半に延期する予定である。

中学校の修学旅行についても、行く方向で検討中である。水泳の授業は、昨年度と同様に取り止めることとした。

(8) その他

教育長：第3次早島町子ども読書活動推進計画策定会議については資料のとおりであり、今進めているところである。また、6月26日は小学校の土曜授業であり、ぜひ参観いただきたい。

3 その他

4 閉会

教育長：次回の教育委員会は6月29日で、中学校の授業参観がある。本日も熱心にご協力をいただき感謝する。